

令和3年度(第18回)立川教育フォーラム

令和4年1月13日
第3回総合教育会議
教育部指導課

ねこ

- 市民……立川市立小・中学校の教育実践を知り、学校教育への理解を深める。
- 学校……令和3年度における立川市民科等の取組を共有し、令和4年度の教育実践に生かす。
- 市民・学校…「地域とともに歩む学校教育の在り方」について理解を深める。

令和3年度テーマ
『立川市民科で学校も地域も元気に！』

立川市民科

地域に根ざした探究的な学習等を通して、市民性を育むことにより、多様性を尊重し、世界の人々とも力を合わせ、「よりよい社会」の実現に向け、主体的に考え、行動する市民を育成することを目的とする。共通取組として「認知症サポーター養成講座」「立川シビック・プライド検定」「応急救護・普通救命講習」も進めている

児童・生徒実践発表

立川市小学生児童会サミット
立川市中学生生徒会サミット

目的

○他校生との交流や討議を通して児童・生徒の自立を図り、立川市民としての資質・能力を育成する。

【テーマ】

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)にチャレンジ！ー私たちの地域をより良く支えるために、できることー



児童・生徒実践発表

立川市立第三小学校

「ファーレ錦町 商店街活性化アートプロジェクト」
図工の作品で、地域の商店街の活性化を目指す。



立川市立松中小学校

「麦プロジェクト」
起業家教育プログラム。収穫した麦を使用して販売する。



立川市立上砂川小学校

「玉川上水学」
地域の一人として玉川上水の自然や歴史を守るためにできることを考える。



立川市立立川第一中学校

「SDGs」
立川市の課題について考え提案し、自分たちができることについて意見発表を行う



講演会「教育は人を幸せにするためのものー教育が未来を創るー」

講師 文部科学省国立教育政策研究所長 浅田和伸先生

本市の立川市民科の取組は、平成27年度から各教科、総合的な学習の時間等において、主体的に地域と関わり、探究的な学習を深めることにより、児童・生徒の地域を大切にしたい思いを育み、よりよい社会の担い手たる市民を育成する実践を進めてきた。

令和4年度より、教科として教育課程に位置付けて取り組む立川市民科の学習を踏まえて、「教育は人を幸せにするためのものー教育が未来を創るー」をテーマにご講義いただく。



<浅田 和伸 先生プロフィール>

香川県豊島(てしま)出身。島にある町立の幼・小・中から県立の新設高校へ。大学で心理学を専攻し、卒業後に文部省(現在の文部科学省)に就職。これまでに県教育委員会の指導課長、内閣官房の教育再生実行会議担当室長、大学入試センター理事、文部科学省の大臣官房審議官、総合教育政策局長などを務め、令和3(2021)年1月から現職。平成21(2009)年度から3年間、都内の公立中学校長も務めた。『週刊教育資料』『月刊教職研修』『内外教育』などに連載、執筆しているほか、著書に『子どもといっしょに成長しよう 3日で気が楽になる「親」の本』(ジヤース教育新社)、『教育は現場が命だ 文科省出身の中学校長日誌』(悠光堂)がある。

日時：令和4年2月6日(日)
午後1時00分開始

会場：立川市市民会館
(たましんRISURUホール)大ホール

「立川教育フォーラム」とは…

平成16年度から、立川市の教育の充実と推進を図るため、保護者、市民、教職員が一堂に会して、市立小・中学校の実践等を紹介する場として、立川市教育委員会が毎年実施しています。

令和2年度テーマ「思いをつなげ、未来を拓こう！」

平成31年度テーマ「人がつながり、時がつながり、そして未来へ」

平成30年度テーマ「主体的・対話的で深い学びを支える

『つながり』について考える

平成29年度テーマ「主体的・対話的で深い学び」